

一 般 質 問 通 告 書

令和5年1月23日

議 会 議 長 様

議席番号 4 番

議員氏名 野 口 俊 彦

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 初めての当初 予算編成は	先の12月議会では、今後の財政見通しと令和5年度の予算編成方針について質したところであるが、町長が所信表明で述べた「新しい杉戸へ挑戦していく」にあたり、新年度予算は重要で、大切な第一歩となります。そこで、町長就任後、初めての予算編成について、具体的にはどのような思いで、どのように進めてきたのか、以下伺います。 (1) 非常に厳しい財政状況下での当初予算編成となったと思うが、当初予算編成方針では、新しい杉戸へ挑戦する予算として、「第6次杉戸町総合振興計画の着実な推進」、「新型コロナウイルス感染症への対応」さらには、「財政の健全化への取組」を中心として予算編成に取り組むこととしていたが、初めての予算編成に対する町長の評価や見解は。 また、工夫した点は何か。 (2) 公約に掲げた4つの優先政策に対する予算への反映状況は。 また、財政状況を考慮しつつ着実に推進していくため、できることから予算編成に反映させて行きたいとのことであったが、課題となった点、事業に着手・準備できなかった点は何か。 (3) 公約に伴う政策が多種多様化していると感じるが、住民は公約に対し期待を抱いていると思われる。11月に公表された町長公約事業の工程表（ロードマップ）は、総合振興計画との整合性は図られているのか。	町長 副町長 総合政策課長 担当課長

1月23日 午前・午後10時30分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 児童・生徒の学力向上施策は	町長マニフェストでは、9つの課題の一つに「県内トップクラスの学力」として、小中一貫教育の実施を掲げ学力の向上に努めるとしているが、そこで、以下伺います。 (1) 近年の全国学力テストの結果では、当町は県平均と比較しどのくらいの位置にあるのか。 (2) 2016年4月に改正学校教育法が施行され、小中一貫教育が制度化された。町長は、学力向上施策の一つとして、「小中一貫教育を実施し、子どもたち一人一人の確かな学力向上に努める」と常々答弁しているが、従来の方法・方針から何をどのように変えていくのか。町長の見解を問う。 (3) 小中一貫教育を目指すのであれば、現在実施している「杉戸町立小中学校再編計画」との整合性を図る必要があると思うが、実現に向けどのように進めて行こうと考えているのか。 (4) 現在、不登校児童・生徒に対し、学習の機会を設定し学習意欲を図る「適応指導教室」への通級者が増加傾向にある。様々な施策に取り組み、児童・生徒の学力向上を目指すことも重要と認識するが、不登校児童・生徒をなくし、誰もが平等に安心して教育を受けられる環境づくりも必要不可欠と考えるが、町長の見解は。	町長 副町長 教育長 教育次長 学校教育課長